

2020年8月15日

カナダ日本語教育振興会

オンライン共有会

13:05-14:20

プロジェクト持ち寄り会（お土産付き）～学習者の主体性を引き出す仕掛け～

「何をやってもいいんですか？」自律学習プロジェクト

ブリティッシュコロンビア大学 田中香織



実践報告の内容

- プロジェクトの位置付け
- プロジェクトの説明
- 実例の紹介
- プロジェクトの振り返り

プロジェクトの位置付け

このプロジェクトを実施したコースについて

コースのレベル： 4レベルに分かれる初級の後半の2コース

Beginning Japanese II A

Beginning Japanese II B

教材： 初級の総合教材『げんき』の二冊目

実施期間：

一回目 Beginning Japanese II A：2019年9月～11月（13週中の最後の5週間）

二回目 Beginning Japanese II B：2020年1月～4月上旬（13週中の後半の8週間）

コースの成績全体に占めるプロジェクトの成績：10%

プロジェクトの説明

「プロジェクトの説明」の部分は、学生に本プロジェクトを説明した際用いたスライドをそのまま使用した。今回は8週間かけて行った二回目の資料を用いている。

Final Project : 発表

Topic : 私のプロジェクト

発表の日時 : 2020年4月のはじめ

発表時間 : 一人三分~五分ぐらい



発表のないよう：

自分の日本語学習プロジェクトについて、クラスのみんなに紹介し、報告する。

スライドを一枚から3枚ぐらい作りましょう

(**MUST use the ppt. template.**)

発表までにしておくこと

宿題・普段点

| | | |
|------------|----------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 2/1日(土) | プロジェクトのけいかく書 (Plan) を出す | Canvas |
| | けいかく書をなおす → プロジェクトスタート | 先生がけいかく書を見て、れんらくします。 Canvas |
| 3/28日(土) | 発表の スクリプト を書いて出す | Canvas The last writing assignment |
| | 先生がなおしたスクリプトを 修正する (revise) | ↑ 作文 |
| | れんしゅうする | |
| 自分の発表の日までに | スライドを出す (Must use the ppt format on Canvas) | Canvas |
| 4/3, 6, 7 | 発表 +プロジェクトの振り返り | ← Final Project |

プロジェクトのきかく

プロジェクト : ()

このプロジェクトをえらんだ理由 :

プロジェクトのよてい

発表会の時すること

- ・ **プロジェクトのせつめい**
- ・
- ・

次に続く 3 枚のスライド (プロジェクトのきかく Example A~C) は、学生による実例ではなく、教師がサンプルとして示したもので、できるだけ大きく異なるタイプの企画内容を見せることにより、学生にも自由に自分のプロジェクトを計画することを促そうとするものである。

プロジェクトのきかく Example A

プロジェクト : (けいごがたくさん出てくるドラマを見る)

このプロジェクトをえらんだ理由 :

こんがっき、クラスでけいごを勉強していますが、けいごをいつ、どうやって使ったらいいか、まだよくわかりません。けいごになれたらこわくなくなると思いますが、あまりけいごを使うチャンスがありません。

ですから、私はこのプロジェクトで、けいごがたくさん出てくるドラマを見ることにしました。

プロジェクトのよてい

- 1) けいごがたくさん出てくるドラマを見つける (クラスメートや先生に聞く)
- 2) 週末に二話 (2 episodes) ずつ見る (けいごにちゅういして見る)
- 3) けいごのセリフをはいゆう (actors) と同じスピード (speed) で言えるまで練習してみる

発表会の時すること

- ・ けいごをたくさん使って発表する
- ・ プロジェクトのせつめい
- ・ ドラマを見て勉強したけいごが出てくる場面 (ばめん=scene) をクラスでしようかいする

プロジェクトのきかく Example B

プロジェクト : (Ankiを使って、たんごをおぼえる)

このプロジェクトをえらんだ理由 :

私は、たんごをおぼえるのが大きらいです。多すぎるし、つまらないし、フラッシュカードをじぶんで作るのもめんどろくさいです。それに、クイズの前におぼえてもすぐ忘れるし、書けても聞いた時わからなかったり、話す時すぐに思い出せなかったりします。でも、いつかもっとたくさんたんごをおぼえて、もっと日本語がじょうずになりたいです。

ですから、このプロジェクトで、私は、Ankiというフラッシュカードのアプリを使って、たんごをできるだけたくさんおぼえてみようと思っています。

プロジェクトのよてい

1) Ankiwebからよさそうなdeckをさがす

(<https://ankiweb.net/shared/decks/japanese>)

2) 毎日おぼえる

発表会の時すること

- ・プロジェクトのせつめい
- ・Ankiのしょうかい
- ・やってみてどうだったか話す

プロジェクトのきかく Example C

プロジェクト : (毎日日本語で日記を書く)

このプロジェクトをえらんだ理由 :

私は、クラスの外でぜんぜん日本語を使うチャンスがありません。それで、まだ、あまりじょうずに書いたり、話したりできません。もっとじょうずに話したいのですが、言いたいことをすぐ言うのは、とてもむずかしいので、まず書いて、おぼえて、話すれんしゅうをしようと思っています。

ですから、このプロジェクトで、私は毎日日本語で日記を書くことにしました。

プロジェクトのよてい

- 1) 発表までの一か月ぐらい、毎日日本語で日記を書く
- 2) 書いたことをおぼえて話すれんしゅうをする
- 3) Language Tableで日本人学生と話す時、日記に書いたことを話してみる

発表会の時すること

- ・プロジェクトのせつめい
- ・一ばんよく書けたと思う日の日記をみなさんの前で読みます

先生のおすすめプロジェクト

Language Tableに行く

多読クラブに行く

多書きクラブでしようせつを書く

スピコン (Speech Contest) に出る

センパイドリルで会話れんしゅうをする

センパイドリルで読むれんしゅうをする

Japanese Fun Nightで小噺 (こばなし = short comedy) をする

先生に毎週けいごを使ってメールを書く

「Language Table」、「多読クラブ」、「多書きクラブ」、「センパイドリル」、「Japanese Fun Night」は全て学科内の課外活動の名称で、学内のリソースを上手に利用することを促す他、学生がプロジェクトの計画段階でいろいろなりリソースにアクセスすることを狙ってLMSでも様々なリソースを紹介している。

Final Project せいせき

| Content and Language | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| Richness of content: The presentation is attractive, rich in content and intrigues the audience. | |
| 5 4 3 2 1 | |
| Richness of language: Can make a presentation using an appropriate level of Japanese for a student of JAPN201, which is the end of the beginner courses. (クラスの人がわからないことばをつかう時は、せつめいを入れる) | |
| 5 4 3 2 1 | |
| Speech (Average of Fluency, Speech manner and Pronunciation) | |
| 5 4 3 2 1 | |
| Analysis on the project: Submit self-assessment on Canvas | |
| 5 4 3 2 1 | |

5 = すばらしかった 4 = よかった 3 = まあまあ 2 = もうすこし 1 = 次回がんばってください

Total _____ /20

Please be informed that the presentation will be video recorded for the evaluation purpose.

Please analyze/reflect on each process of your project. You can write this self-assessment in Japanese or in English.

プロジェクトの計画（けいかく）について（About Planning）

プロセスについて（About Process）

発表について（About Presentation）

About this Final Project (This is not about your work but please give me some advice and comments on this project itself.) Write about how you liked or disliked this project, how the project could be better for your 後はい students.

Lastly, which one was your favorite presentation?

実例の紹介

次に続くスライドの「受容」、「産出」、「やりとり」、「その他」の種別は、今回の発表中、資料が見やすいように設けた便宜上の分類であり、学生に考慮させているものではない。

受容（読む）

興味のある内容について書かれた**日本語のウェブサイト**を読み、語彙を増やす

日本で買ったまま読んでいない**ライトノベル**を読みながら漢字を勉強する

英語訳版の助けを借りながら『**銀河鉄道の夜**』を日本語で読む

Twitterで毎日1ページ更新される**漫画『ふしぎねこのきゅーちゃん』**を読む

受容（聞く）

日本語の**ポドキャスト**を使って、聴解力を上げる

毎日日本の**ユーチューバーの動画**を15分見る

ドラマ「**ロングバケーション**」を見て、**90年代の日本とキムタク**を知る

ドラマ「**日本人の知らない日本語**」を見て、日本語を学ぶ

受容（聞く＋読む）

Satori Reader（アプリケーション）を使って日本語の物語を読む

日本のドラマ「**孤独のグルメ**」を見て、食べたくなった料理を**レシピ**を見て作る

産出

ドラマやアニメのセリフの吹き替え

アメリカのコメディードラマ「オフィス」の日本語吹き替え

オリジナル・パロディースキットの作成と発表

受容と産出

教科書の会話とアニメやドキュメンタリー番組をディクテーションする

やりとり

中国で日本語を学んでいる友だちと毎週日本語で**チャット**をする

「**先輩ドリル**（学科内の課外活動）」に行って、会話・ロールプレイの練習をする

教師のオフィスアワーを活用して毎週一回**会話練習**をする

毎週一回教師に敬語を使って**メール**を書く

産出とやりとり

毎週一つ**ジャーナル**を書き、教師のオフィスアワーを活用して添削を受ける

その他

問題集で**JLPT N2の文法**を学ぶ

『**げんきⅠ**』の内容を自分で学び直し、小テストを受ける（継承日本語話者）

プロジェクトの振り返り (学生からの改善点の提案)

Beginning Japanese II A :
2019年9月~11月
(13週中の最後の5週間)

- もっと早く始めたほうがいい (計画に もっと時間をかけられるし、変更する必要が生じても困らないから)
- ピア評価をやめたほうがいい
- 途中で教師にチェックしてほしい
- 発表だけではなく、努力を証明する物の 提出を課してほしい
- グループでのプロジェクトを認めてほしい

Beginning Japanese II B :
2020年1月~4月上旬
(13週中の後半の8週間)

- 発表の時間が短すぎる
- 質疑応答の時間を設けてほしい
- 途中で教師にチェックしてほしい
- 発表だけではなく、努力を証明する物の 提出を課してほしい
- 簡単すぎる内容を排除するために、ある 程度の制限を設けるべき
- 発表の内容や形式の違いによって、異なるルーブリックを使ったほうがいい

私は今学期のプロジェクトが好きです。このプロジェクトは、本当に自分の日本語の勉強のためのプロジェクトなので、プロジェクトをしながら責任感がありました。そして発表できる機会があって良かったです。

私はみなさんの発表がすきです。日本語の勉強に役立つ様々な情報があって、私も試してみたいです。

A whimsical illustration of a landscape. In the foreground, there are stylized green hills with various plants, including a tall one with a satellite dish and a smaller one with a red flower. In the middle ground, a train with several cars is moving along a track that curves across the scene. In the background, there are more stylized plants and a small building. The sky is light blue with white clouds.

どうもありがとうございました！

ブリティッシュコロンビア大学 田中香織

kaori.tanaka@ubc.ca